

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS四日市校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46人	(回答者数) 37人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育であること。	指導員が固定じゃないからいろんな目で見れる。 その日の様子に合わせた支援ができる。	定期的に個別支援計画の見直し。 日々の打ち合わせをしっかりと行い、情報共有を強化する。
2	運動療育を行っていること。	発達ピラミッドの土台の部分から、上の部分まで様々なニーズに合わせた療育ができる。	様々な研修に意欲的に参加する。 同じ系列の事業所との事例検討を図り、幅を広げていく。
3	保護者との関わりを大切にしていること。	保護者の方に送迎をしてもらっているので、毎回、顔を合わせて最近の様子等を聞き取ることができる。支援に繋げることができる。	時間の確保をする。 様々な話ができるように職員間でしっかりと情報共有をする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスを行っていないこと。	個別療育であるため、時間を確保できるように、よりよい支援を提供するため、送迎のお願いをしている。	なるべくお手間を取らせない工夫をしていきます。
2	支援の様子が見れないこと。	支援中の子どもの集中力を保つために、保護者の方には指導訓練室には入らないようお願いしています。	何かあった場合は見守りカメラで様子を確認してもらえるようにしています。 フィードバックでしっかり伝えていく。
3	場所によって室温差があること。	窓が少ない、エアコンの設置位置の関係から、暑い場所と寒い場所が出てきている。	気温調整ができないと活動に影響が出てくるため、サーキュレーターや加湿器、窓に厚手のカーテンなどを設置して調整を行う。 保護者様に服装の工夫のお願いをする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	S.I.C.KIDS四日市校
------	----------------

公表日 2024年 12月 15日

利用児童数

46人

回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33	3		1		限られたスペースですが、お子様に必要な運動内容などを工夫して行っています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36	1				基準を満たした配置をしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	2		2		タイムタイマーなどを使って一人一人の特性に応じた環境設定を行っています。階段のところに段差がありますが、お怪我のないように配慮しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35			2		毎日、清掃を行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1		1	個別で対応していただき、支援していただいています。	個別療育であるため、一人ひとりにあった運動療育を提供しております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35			2		支援プログラムに添った支援内容を提供してまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35				2		保護者様と情報共有を行い、ニーズ等把握しながら支援計画を作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35				2		5領域に沿って支援計画や支援内容を設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35				2		計画に沿って支援を提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1			4	毎月、中のハンモックの種類を変えていただいているようなのであきることなく通っています。	職員が日々の支援内容を工夫して組んでいます。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	18	2	7		10		S.I.C.KIDS本部が主催しているファミフェス等のイベントの案内をしていきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37						契約の際に説明させていただいています。今後も変更があれば、その都度説明を行ってまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36				1		変更の際も支援計画に沿って説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1	4		9		面談で伝えさせていただきます。研修会のご案内なども行っていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	1			1		日々の支援をお伝えする中で、様々な聞き取りを行い、情報共有をしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2			2		日々の聞き取りも含めて、定期的に面談の機会を作っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37						寄り添える支援を行えるように日々取り組んでいます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	8		12	なくて大丈夫です。	ご要望があればイベント等企画して交流の場を作っていきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1	2		3		事業所からも面談のお声がけを行ってまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1	1				お子様や保護者様に伝わりやすいように配慮しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2024年 12月 15日				
S.I.C.KIDS四日市校						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		限られたスペースで内容を工夫して行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	基準を満たした配置をしています。	より受け入れ態勢を整えるためにも、人員の確保に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○		お子様に合わせた環境設定などを行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		指導員が1人については対応するようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で意見を出し合い、改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ホームページで自己評価を公表しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝、朝礼を行っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○	定期的に本部の研修など実施しております。	全員が研修を受けれるように日程の調整を行っていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		聞き取りなどを行い、その内容を支援計画に反映しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で意見交換をし、支援に繋げております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所での様子とそれ以外での様子も踏まえたうえで支援を行っております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域にわたり支援内容が設定されております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別で支援プログラムを組んでいるが、朝礼の場で確認とアドバイスを全員で行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の状況に合ったプログラムを作成しております。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別支援のみで行っておりますが、同じ時間にご利用のお子様と関わる機会もあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝の朝礼で打ち合わせなどを行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を行い、気付いた点などを共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、支援の記録を取り、次の支援に生かしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や実際に支援を行っている指導員が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご要望があれば対応しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご要望があれば共有を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			まだ対象の児童がおりません。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		しっかり連携を取って支援に生かしております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	S.I.C.KIDS本部協賛のファミフェスのご案内を行っております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日ごろから保護者様とコミュニケーションを図り、共通理解を持っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		面談やご利用の際に、お子様の対応についてなど、お話があったときに対応方法などお伝えしております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明させていただいております。変更があればその都度説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		更新の時期に聞き取りをさせていただき、その内容も踏まえて支援計画を更新させていただいております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		説明の際には支援計画を提示しながら、それに沿って説明をさせていただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご利用の際に対応させていただいたり、面談を行えるようにしております。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会の支援は行っていませんが、イベントの案内などは行っております。	ご家族が参加しやすいイベントなどを企画していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からの要望があれば、面談の日程などを調整して、面談を行えるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramや公式LINE等のSNSで発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		取り扱いには十分に注意しております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障がいの特性等考慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は行っていません。	愛知の事業所では学生ボランティアの受け入れなども行っているため、検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備して、訓練を行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		最初のアセスメントなどで確認を行っております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示初が出ているお子様はいらっしゃいませんが、アレルギーの把握はしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理をしたうえで支援を行っております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		その都度、なにかあればお伝えするようしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々の朝礼などで共有しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		対象になるお子様については、委員会を開催し十分に検討してから保護者様の同意を得て計画に記載しています。	